



プレスリリース

2026年4月9日

マレリ、Auto China 2026 にて ソフトウェア定義型車両向けの次世代車内イノベーションを発表

革新的な電子技術、5G RedCap とインテリア照明の融合により、シームレスに没入型キャビン体験を実現

グローバルな自動車業界向けテクノロジー・パートナーであるマレリは、2026年4月24日～5月3日に北京で開催される **Auto China** にて、最新の**キャビン・イノベーション**を披露します。電子技術とインテリアのさらなる融合により快適性と機能性を向上させ、**ソフトウェア定義型車両**（SDV）時代に、スマートで没入感のある体験を手頃な価格で実現できることを示します。

車両の標準化が多く領域で進む中、デジタル環境と物理的なキャビン空間を形作る先進技術は、ブランド差別化のために不可欠になっています。マレリは、SDV ソリューション、インタラクティブ・デバイス、インテリア空間やサーフェスの戦略的な活用によって、ドライバーと乗員に対して**必要な情報やエンターテインメントをインテリジェントに提供**します。これにより、ユーザーとのインタラクションが向上し、自動車メーカーのデザイン自由度が拡大し、車両の個性も際立ちます。

「未来のキャビンでは、テクノロジーが人間的であること——直感的、反応的、そしてシームレスに統合されていること——が不可欠です」とマレリのCTO 兼イノベーション責任者であるヨアヒム・フェツァーは語ります。「Auto China では、マレリがコンピュータ、ディスプレイ、オーディオ、インテリア・デザインを深い技術力と強力な現地パートナーシップによって、統一されたSDV体験へとまとめ上げる様子をご覧いただけます。」

SDV コックピット体験：ディスプレイ、AI、インテリア・デザインを統合する知能

マレリの車内展示の中心となるのは、**ソフトウェア定義型コックピット体験**です。これはコックピット・コンピューティング、人工知能（AI）、グラフィックス、HMI インターフェース機能を統合したものです。QNX リアル・タイム・オペレーティング・システム（RTOS）をベースにしたアーキテクチャ上で、多様な重要度のドメインを安全に管理し、車載インフォテインメント（IVI）やクラスター表示、キャビン・インテリジェンスまで対応します。これにより、すべてのコックピット機能で滑らかな操作性、高速レスポンス、一貫したユーザー体験が提供されます。

マレリの統合型ソフトウェア定義コックピットは、先進的なディスプレイ技術の導入を可能にし、キャビン全体で一体感のある体験を実現します。超薄型 **MiniLED フル・アレイ・ローカル・ディミング（FALD）ディスプレイ**は、高性能なローカル調光によって、優れたコントラストと鮮やかな色彩、強い日差し下でも読みやすい表示を提供します。また、その薄型設計により、曲面やピラートゥピラーのコックピット構成にも対応できます。



パノラマで没入感のある HMI を実現する **HorizonView ピラー・トゥ・ピラー・ディスプレイ**は、フロントガラス下部に 44.8 インチの連続画像を投影します。高輝度 LCD MiniLED FALD ピクチャー・ジェネレーション・ユニット (PGU) による最大 12,000 ニットの明るさで拡張された視界は、どの照明環境でも全乗員に鮮明な表示を提供し、情報を広く直感的かつ統合された視認域で提示することで、ドライバーの注意散漫も軽減します。

手頃なアーキテクチャ：コスト削減・高性能・スケーラビリティを提供するゾーン・アーキテクチャ

このコックピット体験は、マレリのゾーン型電気・電子 (E/E) アーキテクチャによって支えられています。知能を集約し、ワイヤ・ハーネスを簡素化するこのアプローチは、ECU (電子制御ユニット) の数を減らし、システム・コストを下げ、開発を迅速化します。

エッジ・ノード戦略を基盤とした 2 つのマレリ製品——**MCU フリー・ドア・モジュール**と **MCU フリー・シート・モジュール**——は、ローカル MCU を排除し、窓やミラー、座席、安全機能 (アンチ・ピッチ機能など) を、低遅延リモート・コントロール・プロトコル経由でゾーン・コントロール・ユニット (ZCU) や中央コンピュータ・ユニットに集約します。

オーディオ体験もゾーン・アーキテクチャにより大きく向上します。ゾーン・レベルでオーディオ・ビデオ・ブリッジ (AVB) が有効化されれば、マルチ・ゾーンの高級オーディオ配信を ZCU で直接管理できるため、配線の複雑さが減り、システム統合性が向上します。さらに、マレリは **Ethernet 経由の分散型オーディオ・アンプ**も提供しており、クラス D 技術を用いた高効率ソリューションで、キャビン全体に高音質サウンドを届けながら、ローカル DSP や MCU を必要としません。これらのソリューションは、各種 E/E アーキテクチャや車種に応じた、先進的かつ柔軟でスケーラブルな車内オーディオ体験の選択肢を自動車メーカーに提供します。

手頃な 5G RedCap：信頼性の高い通信を実現する効率的なテレマティクス

マレリは、自動車向けに最適化されたシンプルな 5G テレマティクス・ソリューション **Affordable 5G RedCap (Reduced Capability)** も展示します。これは 4G と同等のコストでデータ速度が約 50% 向上し、遅延も約 2.5 倍低減する技術です。無線によるソフトウェア更新 (OTA)、遠隔診断、リアル・タイム・ナビゲーション、4G から 5G へのシームレスな移行、デュアル周波数 GNSS (全球測位衛星システム) による高精度位置測定など、グローバルなプラットフォームで信頼性と手頃な費用の両立を実現します。

革新的なインテリアがキャビン体験をさらに向上：快適性、カスタマイズ性、スタイリングの強化

マレリのブースでは、**革新的なインテリア・ソリューション群**によって、キャビン体験の新たな進化をご提案します。専用のデモ機 2 台を用いて、快適性や個性、ブランドを際立たせる **インストルメント・パネルとセンター・コンソール**の機能を、軽量かつ低炭素な素材活用も含めて紹介します。

最初のデモ機では、コックピット・エリアの特徴的な機能と最新のアンビエント照明技術を統合し、ドライバーと乗員にとって魅力的なユーザー中心の空間を創出します。注目の機能として、小型の **スイベル・モーター付可動スピーカー**があり、ユーザーが音の向きを調整することで、没入感のあるオーディオ体験を実現します。高品質な音響、耐久性、デザイン性、外部オーディオ・システムとのシームレス



な統合が特徴です。インストルメント・パネル、ドア・パネル、コンソールなどに応用できる**カスタマイズ可能なアンビエント照明**は、ユーザーの好みや走行状況に合わせて空間演出を変え、プレミアムな雰囲気を高めます。

新開発の**モーター式ベント**によって、消費電力を抑えつつ、車内に清潔な空気と最適な空調管理を提供し、快適性がさらに向上します。また、スタイリッシュな**リトラクタブル・テーブル**は多用途に使えるだけでなく、使用しない時は車内をすっきりと清潔かつ機能的に保ちます。

センター・コンソールの機能とデザインも革新の原動力となっており、柔軟なスペース構成や簡単なアクセスを可能にする各種ソリューションによって、日常の使い勝手が大きく向上します。代表的な機能としては、三方向から開閉できる**マルチ・アクセス・コンソール・リッド**、後部座席乗員がエンターテインメントやコントロール、パーソナライズ機能を手軽に使える**着脱式ディスプレイ機構**、センター・コンソールに統合された**取り外し可能モジュール**があり、さらに収納スペースを追加できます。

Auto China 2026 におけるマレリの展示は、「**Rooted in innovation, everywhere**（革新に根差し、世界中へ）」というテーマのもと、強力な地元の開発力とサプライ・チェーンをグローバルな協調体制と組み合わせたアプローチを際立たせています。このモデルによって、中国はもちろん世界の市場で迅速にローカルイノベーションを提供でき、製品市場投入のスピードが加速します。マレリの最新の電子技術、インテリア、その他のイノベーションは、北京国際汽車展示会の新中国国際展覽中心（NCIEC）ホール **W2**、ブース **W2B08** でご覧いただけます。

訳注：当文書は 2026 年 4 月 9 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。